

第2回：成果品のイメージづくり

日 時：6月11日（日） 13：30～16：30

会 場：江東区文化センター 5F会議室

内 容：成果品の検討と、次回まち歩き場所の検討

- ・ボランティアの心構えや、ボランティアをする際に補助となるツールなどについて検討しました。

プログラム：

13：30 【開会】あいさつ

13：35 本日の進め方（10分）

13：45 【グループワーク：目指すボランティア像（振り返り）】

（40分）

- ・グループ内で自己紹介
- ・前回のまとめをみながら内容を深める

14：25 各テーブルの様子を報告

14：40 ～休憩（10分）～

14：50 ①【グループワーク：成果品案の検討】

（50分）

- ・どんなツールがあると良いか
- ・7つ道具（仮）の検討

15：40 ②【発表】3分×6グループ

（20分）

16：00 ③【まち歩きの場所と内容】

（25分）

江東区の○○を見に行こう

16：25 アンケート記入、事務連絡

16：30 終了



ワークショップの様子

①【グループワーク：成果品案の検討】

今年度の成果物や活用したい既存の資料（案）

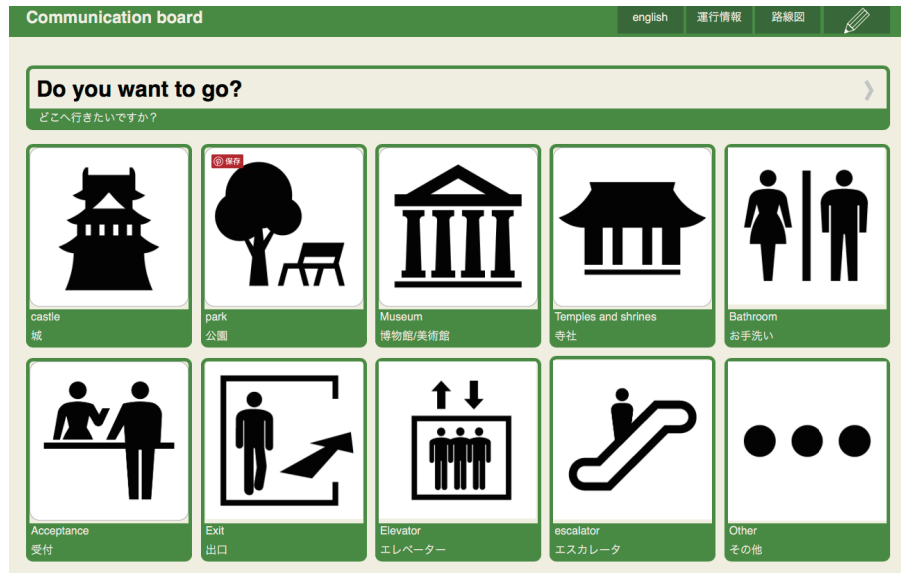
(1) まとめ冊子（ボランティアの心構え）←今年度の成果品案1

▶ワークショップで検討した結果を冊子としてまとめて、瞬間ボランティア、15分ボランティア、2時間ボランティアの考え方を広げます。

(2) コミュニケーション支援ボード ←今年度の成果品案2

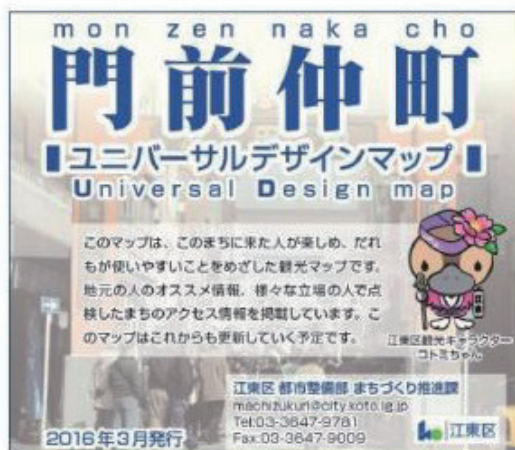
▶話すことでコミュニケーションをすることが難しい人、日本語がわからない外国人とのコミュニケーションを支援するためのものです。

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団



(3) 案内用地図

▶江東区ではいくつかの地図が発行されています。2016年3月には、亀戸地区、門前仲町地区でユニバーサルデザイン観光マップを作成しています。



(4) ユニバーサルデザインに配慮した声かけや接遇のガイド

- ▶ 「心のバリアフリー」「コミュニケーションハンドブック」外国人接客の心構えをまとめた「世田谷スマイル」(東京商工会議所世田谷支部)など、東京都やさまざまなところから発行されています。2017年3月には、江東区でも「ユニバーサルデザイン・トライ!(UD TRY!)」を作成しました。



「世田谷スマイル」(東京商工会議所世田谷支部)



「発達障害、知的障害、精神障害のある方とのコミュニケーションハンドブック」(国土交通省)



「『心のバリアフリー』って何だろう?」(東京都)

(5) 気軽にボランティアするための補助ツール

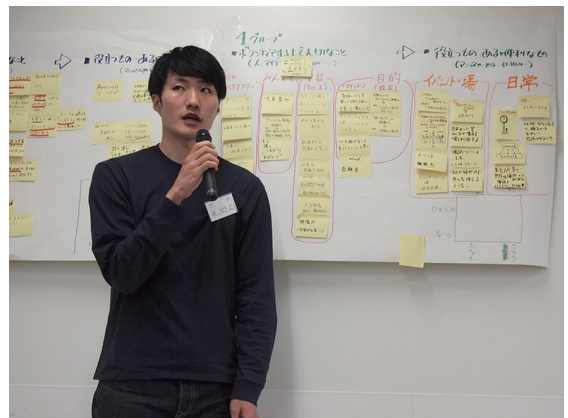
街で役立つツール（ボランティア7つ道具）を考えてみませんか。

<例> ▶筆談用具（メモ）

- ▶書いて相手に渡せるカード
- ▶視覚障害者の買物支援の時に役立つ輪ゴムや目印になるシール
- ▶名刺や身分証明書
- ▶自分が目立つジャケット　ほかには・・・？

②【発表】

・ボランティアをする際に大切にしたい心構えや、役立つツールについて意見を出し合いました。



話し合った内容を発表

③【まち歩きの内容と場所】

・亀戸、門前仲町、森下、砂町銀座などができました。